



大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 芳井敬一
大阪市北区梅田 3-3-5

環境省より「エコ・ファースト企業」に認定されました

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、2018年8月7日、環境省が企業の環境活動を推進する「エコ・ファースト制度」において、「エコ・ファースト企業」として認定されました。

大和ハウスグループは環境長期ビジョン「Challenge ZERO 2055」に基づき、創業100周年となる2055年までに、住宅・建築物のライフサイクルにおける「環境負荷ゼロ」を実現することを目指し、グループ・グローバル一体での環境経営を推進しています。今回、こうした取り組みを以下の5点にまとめ、「エコ・ファーストの約束」として宣言し、住宅・建設業界における環境先進企業に認められました。

●エコ・ファーストの約束（概要）

- | |
|---|
| 1. 脱炭素社会の実現に向け、徹底した省エネ対策の推進と再生可能エネルギーの活用により、ライフサイクルにおける温室効果ガス排出量ゼロを目指します。 |
| 2. 自然資本の保全・向上に向け、材料調達による森林破壊ゼロの実現と、緑あふれる街づくりによる緑のノー・ネット・ロス※1を目指します。 |
| 3. 資源循環型社会の実現に向け、住宅・建築物の長寿命化と廃棄物のゼロエミッションを通じて、資源の持続可能な利用を目指します。 |
| 4. 住宅・建築物のライフサイクルを通じた化学物質の適正管理に取り組み、人や生態系に悪影響を及ぼすリスクの最小化（ゼロ）を図ります。 |
| 5. 従業員の環境教育や実践の推進及び、次代を担う子どもたちの環境意識啓発を図ります。 |

※1. 緑の喪失面積以上に創出面積を増やすこと。



【認定式】

●「エコ・ファースト制度」について

環境省が、2008年、各業界の環境先進企業としての取り組みを促進することを目的に設立した制度です。企業は環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策などの環境保全に関する取組みを「エコ・ファーストの約束」として宣言。環境大臣がその企業を環境の分野に先進的、独自のかつ業界をリードする企業「エコ・ファースト企業」として認定しています。



【エコ・ファースト・マーク】

今回、当社は「Challenge ZERO 2055」に基づく、エネルギー効率の向上および再生可能エネルギーの活用、温室効果ガス排出量削減などに関する目標や取り組みが「先進的・独自のでかつ業界をリードする活動」として評価され、「エコ・ファースト企業」に認定されました。

これまでも当社では、環境に関する国際的なイニシアチブ「EP100」と「RE100」、「SBT」※2に世界の住宅・建設業界で初めて加盟・認定されています。今回の「エコ・ファースト企業」認定を契機に、環境負荷ゼロを目指す戸建住宅環境ブランド「For Nature（フォーネイチャー）」や環境配慮型建築「D's SMART」、環境エネルギーソリューション事業などの展開をさらに加速させ、お客さまと共に環境負荷の低減に取り組んでいきます。

※2.「EP100」は、事業のエネルギー効率を倍増することを目標に掲げる企業連合。「RE100」は、事業運営に要する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業連合。「SBT」は、温室効果ガス排出量を削減するための目標掲げる企業連合のこと。

●エコ・ファーストの約束（詳細版）


https://www.daiwahouse.com/sustainable/eco/eco_first/yakusoku.pdf

●エコ・ファースト企業に認定

https://www.daiwahouse.com/sustainable/eco/eco_first/

以 上

【 未来を、つなごう We Build ECO 】

| | |
|---|---|
|  未来を、つなごう We Build ECO | 私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。 |
|---|---|

| お問い合わせ先 | | |
|---------|----------|--------------|
| 広報企画室 | 広報グループ | 06-6342-1381 |
| | 東京広報グループ | 03-5214-2112 |